

## 【巻頭言】

## 会長再任のご挨拶

会長 玉田 彰 (53 回生)



新元号「令和」を迎え平成が 30 年余りで幕を閉じました。これで学友会は昭和、平成、令和の 3 世代が引き継がれ、今年で創設 91 年を迎えることになりました。

昭和 3 年、福田雋一先生を初代会長として発足され、滝内政治朗先生や高橋藤綱先生が長きに渡り尽力された会長職について、特に平成の歴代会長をここに感謝の意を込めてご紹介させていただきます。

.....

平成元年 (京都医療技術短期大学開学)  
 平成元年～ 6 年 今津 博先生 (22 回生 故人)  
 平成 7 年～12 年 後藤正季先生 (34 回生)  
 平成 13 年～18 年 石山 忍先生 (36 回生 故人)  
 平成 19 年 (京都医療科学大学開学)  
 平成 19 年～22 年 埜藤真純先生 (43 回生)  
 平成 23 年～28 年 神澤良明先生 (43 回生)  
 平成 29 年～30 年 玉田 彰 (53 回生)

.....

私が会長に就任して 1 期 2 年が過ぎました。率直な感想を申し上げますと「やっと 2 年間の任期が終わった」ということとなりますが、これまで会長を務めあげられた先生方は 2 期、3 期とご苦労され、その結果 100 周年という大きな節目を目前にすることができたものと感謝申し上げるばかりです。加えて語らずにはいられないのが、山田先生、西谷先生の大きな後ろ盾です。両先生は長年に亘り学友会の運営面のみならず、経理、人事面でもご指導いただき、現在の安定した運営と活発な活動の源を築いてこられました。あらためて歴代の会長と両先生に御礼申し上げます。

さて、2 年間の会長経験で悪戦苦闘したことはまず「巻頭言」です。今回で 5 回目となりますが、表現力が乏しいためか、頭の中では出来上がった構想をいざ文章化しようとするとなかなか上手くまとまらないのです。毎回のことですがネタ探しに数週間、まとめるのに数週間、何とか形になるのが締め切り前日 (今回も同様)。いずれコツが掴めると思っておりましたが、これから先も葛藤すること間違いなしです。もう一点は支部総会等の挨拶です。会長の挨拶は殆んど会の冒頭でももちろん私を含め皆さん“シラフ”です。したがってお話しする内容も必然的にお堅い話にならざるを得ないので毎回悩んでしまいます (アルコールが入った状態で俗っぽい話をさせて頂けるなら 1 時間でもしゃべりますが)。

しかし、やり甲斐を感じることも多々あります。支部総会当日「遠くまで行くのが面倒やなあ」なんて思うこともありますが、支部の皆さんの熱心な活動を拝見し、多くの先輩、後輩と交流を持ち、時には同級生からエールを貰ったりすると「参加させてもらって良かった」と満たされた気持ちで帰宅することができます。さらに遠藤学長、鈴木事務局長をはじめ、大学の先生方が可能な限り各支部総会にご出席くださり、学友会を後押ししていただいたことは、私のモチベーションアップと責任感維持の支えとなっております。

最後になりますが、私はこの度、皆様のご推挙を賜り再任の運びとなりました。もうすぐ迎える 100 周年への引き継ぎ役として、また令和のスターターとして活気溢れる学友会づくりを心掛けてまいります。そのためにも 2 年間の経験で至らなかった点を反省しつつ、理事、各支部、大学教職員のお力添えを頼りに学友会活動に邁進してまいります。今後とも御指導、御鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

以上